

重点施策 1 2 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展、歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育むとともに、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及、啓発を実施する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

■文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術館の開館
- ② 八幡浜市美術展の開催
- ③ 県展八幡浜移動展の開催
- ④ 八幡浜市美術館開館記念「印象派からエコール・ド・パリまで」の開催

■文化会館事業

- ① 文化会館管理・運営
- ② 自主文化事業の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため翌年度に繰越）
- ③ 企画プロデュース事業への助成（新型コロナウイルス感染拡大防止のため申請なし）
- ④ カルチャー教室・ロビー展の開催

■市民文化活動センター事業

- ① 市民文化活動センター管理・運営
- ② 自主事業の開催

(2) 施策・事業の実施状況

■文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術館の開館

八幡浜市民文化活動センター1階にある八幡浜市美術館は「市民のアートへの入口」となることを目指し、自ら制作した作品の発表の場として、また芸術作品を鑑賞する場として、地域の人々と歩んでいきたいという思いで建設され、令和2年4月に開館した。

② 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画）、書道、写真、工芸等の各分野から207点の応募があった。特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会長賞、推奨、高校生奨励賞等の表彰を行い、作品制作の励みとなるようにした。

観覧料は無料。観覧者1,778人（八幡浜市美術展委託料）399千円

③ 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）、書道、写真等の作品 114 点を展示した。

観覧料は無料。観覧者 928 人（県展八幡浜移動展委託料）261 千円

④ 八幡浜市美術館開館記念「印象派からエコール・ド・パリまで」の開催

八幡浜市美術館の開館記念展として、幅広い年代から人気のある印象派からエコール・ド・パリの作家たちの作品を紹介する展覧会を開催した。世界や日本の名品に出会える美術館として、笠間日動美術館の西洋絵画コレクションよりモネ、ルノワール、ピカソ、シャガールなど、誰もが知る有名な画家の秀作を一堂に集め、近代美術史上輝かしい 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけてのフランス・パリの芸術を紹介した。

会期 2 月 6 日～3 月 21 日（38 日間） 観覧者 3,294 人（展示輸送委託料ほか）10,063 千円

■文化会館事業

① 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育むとともに、生涯学習の拠点として貸館業務、カルチャー教室、ロビー展などを実施した。自主文化事業と企画プロデュース事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

② 自主文化事業の開催

「宇崎竜童弾き語り LIVE」、「Quartet9640 コンサート」、「鼓童ワン・アース・ツアー」、「江戸家小猫と林家二楽の演芸会」の 4 事業を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、翌年度に繰越とした。

③ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の募集をしたが、新型コロナウイルス感染症の対応のため申請がなかった。

④ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座との調整を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、俳句・絵手紙・料理の 3 講座を開講した。それぞれ年間 10 回開講を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵手紙・料理は 9 回の開講となった。

また、ロビーを作品発表の場として開放し、「ミニ美術館」として活用した。市民の方々の優れた作品を展示し鑑賞していただいている。

■市民文化活動センター事業

① 市民文化活動センター管理・運営

完成フロアより、順次、貸館・自主事業を開始した。（令和 2 年 5 月～会議室・和室、令和 2 年 7 月～スタジオ・音楽練習室、令和 2 年 8 月～ホール・楽屋）施設の運営にあたっては、設備・備品を充実させ、使用料金をより低料金に設定する等、

「練習」の場・「発表」の場として利用しやすい環境を整え、市民の自主的な文化・芸術活動並びにボランティア活動等の支援につなげた。

② 自主事業の開催

コロナ禍でできることを選定し、コロナ感染拡大防止策を最大限に講じながら、こけら落とし公演等自主事業を実施した。具体的には、ホールに設置している400インチのスクリーン及び20,000ルーメンの高輝度プロジェクターを活用した映画上映会を定期的に行い、市民に映像文化に親しむ機会を提供した。また、市民にとって身近な存在である本市にゆかりのあるアーティストを迎えたコンサート（Trio Clementine Afternoon Concert～ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる昼下りのコンサート～／愛媛オールスターズジャズフェスティバル in 八幡浜／宮本益光の「オペラの楽しみ」八幡浜スペシャル）を開催し、優れた芸術文化を「鑑賞」する場を提供した。

【事務事業点検評価委員意見】

- 市民文化活動センターにある八幡浜市美術館が、「市民のアートへの入口」を目指し令和2年4月に開館した。芸術・文化活動の市民への普及・啓発に大きな役割を果たしている。八幡浜市美術展では、絵画・書道・写真・工芸などの各分野から207点もの応募があった。どの作品も制作者の思いが伝わってくる迫力あるものであり、市民の文化的なレベルの高さが伺える。この美術展では、「高校生奨励賞」を設けており、若い才能を伸ばす上で大変意義がある。1,778名もの観覧者があり、市美術展が、市民に親しまれていることが分かる。県展八幡浜移動展においても、各分野から多様な作品が出品されており、市民が、芸術に触れることのできる環境があることは、大切なことだと感じた。

八幡浜市美術館開館記念「印象派からエコール・ド・パリまで」は、笠間日動美術館の西洋絵画コレクションより、モネ、ルノワール、ピカソなどの一流の画家の作品を展示したものだ。市民にとっても、本物を見ることができるといえる機会となり、観覧者は、3,294人となっていた。

- 文化会館事業では、中央で活躍されている方々を招き、幅広いジャンルでのコンサートを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため来年度へ延期となった。また、企画プロデュース事業についても新型コロナウイルスの影響を受けている。来年度は、実施できるように願っている。

カルチャー教室・ロビー展は、感染防止に気を付けながら、年間通して活動ができたことは、素晴らしいと思われる。ロビー展など、地道であるが楽しみにしている人もおられるため、市民に対しての広報活動に、更に力を入れると一層盛り上がると思われる。

- 市民文化活動センター事業については、施設・備品を充実させ、低料金で「練習」の場、「発表」の場として利用しやすい環境を整えてもらっている。市民の文化・芸術活動にやる気と生きがいをもたらす、市民全体に活気と明るい展望を与える場となっている。

コロナ禍ではありながら、映画上映会や、「ピアノ・ヴァイオリン・チェロによる昼下が

りのコンサート」「オールスターズジャズフェスティバル in 八幡浜」「宮本益光の『オペラの楽しみ』」など、優れた芸術文化を鑑賞する機会を、市民に与えてもらった。コロナで不安な心を前向きにし、健全な生活が送れる機会になった方が増えたとしたら、文化・芸術に触れる環境を整えることは、大切なことだと思われる。

【自己評価】

- 八幡浜市美術館は、美術館として高い機能を備えながらも、市民のみなさまが気軽に利用しやすいつくりになっている。開館記念として開催した「印象派からエコール・ド・パリまで」展では、モネ、ルノワール、ピカソなどの一流の画家の作品を展示することができ、来場者の皆様に大変喜んでいただいた。これからも様々な芸術作品の鑑賞の場として、また、創作活動の発表の場として活用を図り、広報を行っていききたい。
- 文化会館自主事業に関して、新型コロナウイルス対策のガイドラインに基づき感染対策を取りながら徐々に再開していくこととしている。今後も市民のニーズに対応した自主事業を企画したい。
- ポストコロナを見据え、市民文化活動センターの更なる認知度向上及び利用促進を図るため、様々な媒体を活用した情報発信を行っていききたい。また、市民の声を聞きながら、ゆめみかんと異なる施設特性を生かしたイベントを開催していききたい。